

明石高専衛星 宇宙へ



9機の衛星を搭載し、打ち上げられる小型ロケット「イプシロン」5号機＝9日午前9時55分、鹿児島県肝付町の内之浦宇宙空間観測所

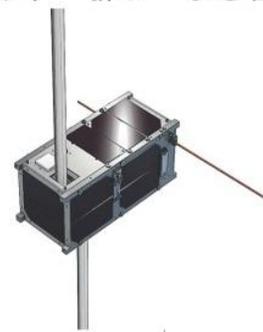
イプシロン打ち上げ成功

宇宙航空研究開発機構（JAXA）は9日午前、小型ロケット「イプシロン」5号機を鹿児島県肝付町の内之浦宇宙空間観測所から打ち上げた。明石工業高等専門学校（明石市）など国立高専10校が共同開発した小型衛星や民間企業の衛星など、同型機では最多の9機を搭載。衛星は全て予定の軌道に投入され、打ち上げは成功した。当初10月の打ち上げ予定だったが、装置の不具合や強風などのため3回延期していた。

高専10校が共同開発したのは「KOSSEN-1」。木星から出る電波を捉える全長7.5メートルのアンテナを宇宙空間で展開、姿勢制御装置の機能などを確かめる。

イプシロン打ち上げは、衛星7機を宇宙に運んだ2019年1月以来。衛星などを開発した教育機関や企業に、実証実験の機会を提供するプログラムの一環。

宇宙産業の競争力強化を目指す。川崎重工業（神戸市中央区）の衛星も搭載し、宇宙（みみスペース）の除去に向けた実証実験を行う。5号機は直径2.6メートル、全長26メートル、重量96トン。大型H2Aロケットの固体ロケットブースターを1段目に



転用するなど、コストダウンを図った。打ち上げ費用を含めた総開発費は58億円。

9日の打ち上げは予定より約4分遅れたが、JAXAによると、国際宇宙ステーションから帰還する星出彰彦さんが乗った米宇宙船クルードラゴンなどの接近を避けるためだったという。

明石高専など全国10高専が共同開発した衛星（JAXA提供）

全国10校共同開発、木星観測

(C)神戸新聞社 無断転載 複製および頒布は禁止します。

- ①宇宙航空研究開発機構（JAXA）が9日午前、打ち上げに成功したロケットの名前は何といますか。

- ②どこが開発した衛星を何機搭載しているのでしょうか。

- ③当初10月の打ち上げ予定が、3回延期された理由は何ですか。

- ④高専10校が共同開発した小型衛星の名前と活動内容を書きましょう。

- ⑤固体燃料ロケットについて調べてみよう。